

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年5月18日(月) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月18日(月)

- 18日(月) 17時現在、州内感染者数は前日比4688人増(+1%)の6万3066人、うちサンパウロ市が3万6188人、オザスコ市が1753人、グアルーリョス市が1544人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が1469人と続く。州内死者数は同721人増(+1%)の4823人で、うちサンパウロ市が2856人。全体の致死率は7.6%、60歳以上の死者の割合は72.9%。感染が確認されているのは州内645市のうち467市(前日463市)、死者は214市(前日213市)。入院感染患者数は約9800人。州内公立病院のICU占有率は69.8%(前日73.9%)、サンパウロ大都市圏内は同89.3%(前日92.2%)。
- 18日(月)、サンパウロ州政府は、7月9日(木)の護憲革命記念日(州の休日)を5月25日(月)に前倒しする提案を行っていると発表。これまで週末の社会的隔離実施率が高かったため、休日により州内の社会的隔離の実施率を向上させ、新型コロナウイルスの感染拡大を阻止することが目的。関連法案は州議会に提出され、緊急審議が行われている。また、州政府は、サンパウロ大都市圏、内陸部、沿岸部の自治体に対し、各市の休日を前倒して5月26日(火)及び27日(水)を休日とするよう要請。
- 18日(月)、サンパウロ州政府は、企業関係者との9回目の会合を実施。過去9回の会合を通じ、州政府は企業家連帯グループに参加する計362社の企業から累計6億5350万リアル相当の寄付(現金、個人防護用品、衛生用品、基礎食料品等)を受領。
- 18日(月)、サンパウロ州政府は、サンパウロ大学サン・カルロス・キャンパスの数理科学・コンピューター研究所が外出自粛期間中の経験を共有するためのデジタル・プラットフォーム「Vamos ficar bem」を開設したと発表。同プラットフォームでは、人々が新型コロナウイルスや外出自粛にどのように向き合っているかについての動画や画像、音声等が共有される。
- 18日(月)、サンパウロ市は、6月11日(木)の聖体祭及び11月20日(金)の黒人尊厳日の休日を5月20日(水)及び21日(木)に前倒しにする予定と発表した(市議会での審議・承認を経て、19日(火)の官報に関連の条例が告示)。市民の外出自粛及び社会的隔離の実施を促すことを目的とする。なお、同市は22日(金)も任意の休日(ponto facultativo)としており、同日市の公的機関は休日となる(医療、治安、社会福祉、埋葬等の関係機関は適用対象外)。
- 18日(月)、サンパウロ市は、市が実施中のインフルエンザ・ワクチン接種キャンペーンに関し、これまで約277万人に対しワクチンを投与したと発表。同市は、インフルエンザ・ワクチンの接種は新型コロナウイルスの感染予防にはならないが、医療関係者が新型コロナウイルスを診断する際にワクチン接種歴が判断材料になると説明。
- 18日(月)、サンパウロ市は、薬局チェーン「Grupo FarmaConde」の協力の下、同日午前、貧困層が多く居住するフレゲジアー・ブラジランジア地区の道路等の公共スペースの消毒を行うため、次亜塩素酸ナトリウムの撒布を行うと発表。撒布には、容量20リットルの持ち運び用の撒布機に加え、最大容量4千リットルの大規模な散布機も使用される。

2 マット・グロソ州

5月14日(木)～18日(月)

- 18日(月) 18時現在、州内感染者数は前日比42人増の941人、うち州都クイアバ市が293人、ロンドノーポリス市が93人、ヴァルゼア・グランデ市が76人と続く。入院患者数は73人(うち44人がICU)。州内死者数は16日(土)に28人目(57歳女性、クイアバ市、糖尿病と高血圧症を患ってい

た)、17日(日)に29人目(79歳女性、クイアバ市、糖尿病と高血圧症を患っていた)及び18日(月)に30人目(49歳女性、クイアバ市、糖尿病と高血圧症を患っていた)が確認された。統一医療保健システム(SUS)に参加する州内病院におけるコロナウイルス感染患者向けのICU病床の空きは214床(占有率12.6%)、一般病床は695床(同2.4%)。

- 18日(月)、同州政府は14日(木)に同州下院議員や職員のコロナウイルス感染が確認されたとして、翌15日(金)に州議会の共有スペースの消毒を実施したと発表。
- 16日(土)、同州政府は、州知事夫人が中心となり実施している慈善キャンペーン「Vem Ser Mais Solidário」に対し、企業や一般個人等から既に食料130トン以上の寄付が寄せられたと発表。これらの食料品は州内141市の貧困家庭を対象に配布され、これまでに6万世帯が恩恵を受けた。
- 16日(土)、クイアバ市は、ブラジル全国でコロナウイルスの感染者と死者が急増する中、同市の状況は他市に比べて大変良いとの見解を示した。統計によると、同市の累計死者数は同日までに2人、致死率としても0.9%にとどまり、感染者数も州都では全国で3番目に少なく、ICU病床については人口10万人あたり66.8床と上位3位に入っている。
- 16日(土)、クイアバ市は、市内で自営業者として登録されている1687人に対し、一時資金援助として5000リアルを支給すると発表。外出自粛措置等に伴い経済的に困窮している自営業者の支援が目的。
- 14日(木)、クイアバ市は、市内の公立・私立学校の教室での授業中止措置を6月14日(日)まで延長すると発表。同市長は今後の感染拡大状況を見極めつつ、更に延長する可能性を示唆。
- 14日(木)、同州政府は、軍警察が同日午後、匿名の通報を受け、ロンドノーポリス市内でコロナウイルスの迅速簡易検査を無資格・無許可で実施していた男性及び女性の2人を逮捕したと発表。

3 マット・グロソ・ド・スル州

5月14日(木)～18日(月)

- 18日(月)15時現在、州内感染者数は前日比43人増の613人、うち州都カンポ・グランデ市が181人、ギア・ロペス・ダ・ラグナ市が105人、トレス・ラゴアス市が93人と続く。入院患者数は28人(うち11人がICU)。州内死者数は17日(日)に17人目(79歳女性、トレス・ラゴアス市、糖尿病を患っていた)が確認された。カンポ・グランデ市で実施しているドライブスルー形式の感染検査数2115人のうち53人が、ドウラードス市では214人のうち12人が、トレス・ラゴアス市では222人のうち25人が陽性を示した。コルンバ市では50人を検査し、引き続き感染者は確認されなかった。
- 16日(土)、同州保健局長は、州内の感染者数が一週間で倍増し、特にギア・ロペス・ダ・ラグナ市を中心に州南西部での感染が大幅に増えているとして、州民に改めて社会的隔離の確保を呼び掛けた。なお同州保健局長は17日(日)、警察や消防、州法務局等の代表と会合し、同州の社会的隔離の実施率向上に向けた戦略的な方策等について協議した。
- 15日(金)、同州政府は州立学校の教室での授業中止措置を6月30日(火)まで延長すると発表。これを受け、5月4日(月)～18日(月)の冬休み明けの授業は、6月30日(火)までオンラインで行う予定。
- 15日(金)、同州政府はコロナウイルス感染対策として、州南部アマンバイ市にこれまで約32万リアルを送金し、防護具3300個等を届けたと発表。州政府はこのほか、同市の灌漑設備や道路舗装等の基礎インフラ工事のため630万リアル以上を拠出する計画。
- 15日(金)、カンポ・グランデ市は条例で禁止している市間を結ぶバスの運行に関し、複数のバス会社が同条例を遵守せず、また、停留所外での乗降を行っていた等として、主管当局が取締りを実施したと発表。
- 14日(木)、同州交通局(Detran-MS)は同日より更新運転免許の郵送サービスを開始したと発表。
- 14日(木)、カンポ・グランデ市は市保健局を通じ、コロナウイルス感染患者対応の医療体制を強化するため、新たに60人の医師を雇用したと発表。これらの医師は市内の救急病院(UPAs)等に配置される。(了)